

地域で育む農地・農村の環境 —農地・水・環境保全向上対策—

愛称 『とんぼの未来・北の里づくり』

[ロゴマーク]



7月27日（金）、本対策の化学肥料及び化学合成農薬を5割以上低減する先進的営農により生産された『こだわり農産物』のPRを目的に試食会を開催しました。

当日は、新篠津村、月形町、深川市、鹿追町で収穫されたメロン、スイカ、まくわうり、さくらんぼ、トマト、ミニトマト、スイートコーン、キャベツが提供され好評を博しました。



(試食会のようす)

◎ 農地・水・環境保全向上対策の概要

【趣 旨】

- 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るためには、効率的・安定的な農業構造の確立と併せて、基盤となる農地・水・環境の保全と質的向上を図るとともに、農業が本来有する自然環境機能を維持・増進することが必要である。
- 農地・農業用水等の資源については、過疎化・高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保安全管理が困難となってきた現状を踏まえ、地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、化学肥料や化学合成農薬の低減等により環境負荷を軽減する、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を、一体的かつ総合的に支援する。

【実施期間】 平成 19 年度～平成 23 年度までの 5 年間

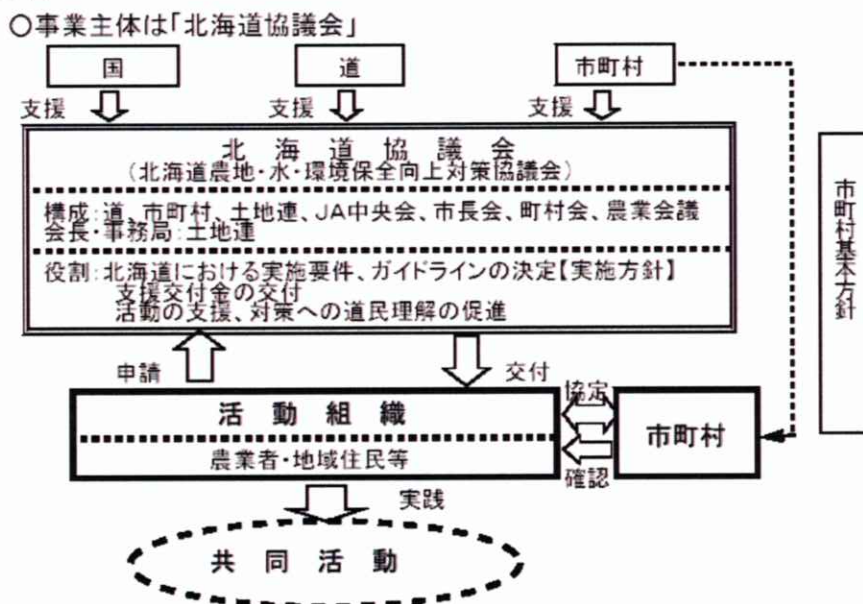
【事業主体】 北海道農地・水・環境保全向上対策協議会

(構成：道、市町村、土地連、JA中央会、市長会、町村会、農業会議)

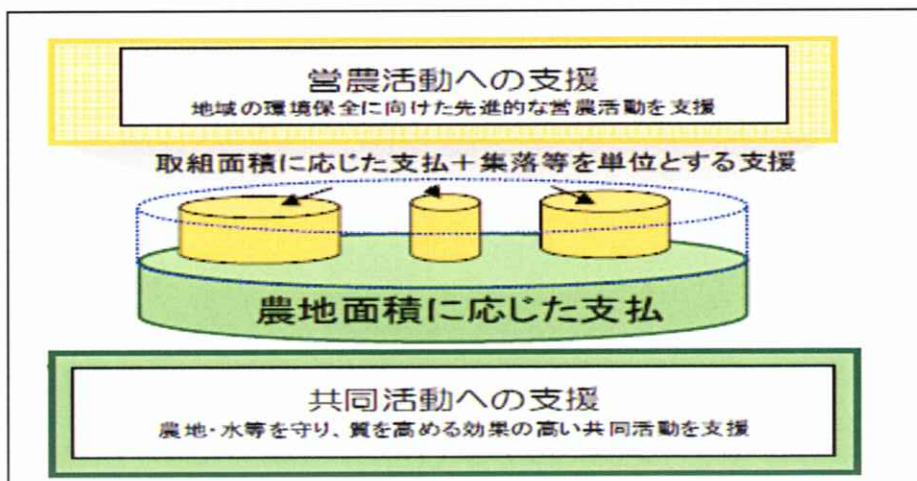
【助成割合】 国：支援額の1/2 道：1/4 市町村：1/4

【平成 19 年度予算額】 1, 665, 562 千円 (うち道費 1, 513, 058 千円)

〈実施の仕組み〉



〈支援の概要〉



1 共同活動支援

(1) 対象農用地

市町村との協定に位置づけられた農用地区域内の一団の農用地

(2) 活動内容

- ・農地・農業用水等の資源の保全管理活動
- ・施設の長寿命化など生産資源の保全向上活動
- ・景観保全など環境資源の保全向上活動

(3) 支援単価

■ 基礎支援		■ 促進費
地目	10aあたり単価 (円/10a)	〈支援の対象〉
田	3,400 円	・高度な資源の保全活動
畑	1,200 円	・質の高い農村環境保全活動
草地	200 円	・活動組織のNPO法人化
		〈支援額〉
		・1 地区当たり 20 万円又は 40 万円

2 営農活動支援

(1) 対象地域

資源を守る共同活動（支援）の実施地区内において、市町村の計画等に基づき環境保全に取り組む地域

(2) 対象となる活動

- ・環境負荷低減に向けた取組（有機質資材の施用等）を農業者全体（地域の8割以上）で行うこと
 - ・化学肥料・化学合成農薬を慣行レベルから5割以上低減する取組を行うこと
- ① 地域でまとまりをもった取組であること（作物別に生産者のおおむね5割以上又は作物全体で、面積の2割かつ生産者の3割以上）
- ② 持続性の高い農業生産方式（エコファーマー）の認定を受けること

(3) 支援内容

先進的な取組に係る掛増し経費を基礎に算定
 （活動組織に交付するが、取組農家に配分することも可）

(4) 支援単価

■ 先進的営農支援		■ 営農基礎活動支援
作物区分	10aあたり単価 (円/10a)	集落を単位とする支援 20万円/地区 (国と地方の合計)
水稻	6,000 円	
麦・豆類	3,000 円	
いも・根菜類	6,000 円	
葉茎菜類	10,000 円	
果菜類・果実的野菜	18,000 円	
施設で生産されるトマト、きゅうり、なす、ピーマン、いちご	40,000 円	
果樹・茶	12,000 円	
花き	10,000 円	
上記の区分に該当しない作物	3,000 円	

平成19年度 とんぼの未来・北の里づくり対策の概要

1 保全活動支援

(1) 平成19年度採択結果

・市町村	：	83市町村	
・地区数	：	476地区	
・活動面積	：	25万9千ヘクタール	(全道の22%)
内訳：水田		14万5千ヘクタール	(全道の64%)
畑		8万6千ヘクタール	(全道の21%)
草地		2万8千ヘクタール	(全道の5%)

(2) 活動参加者

農業者 24千戸 (全道 40%)

参画団体

土地改良区等の地域資源管理組織、JA等の農業組織の他、多様な活動組織としては町内会、老人会、子供会等の地域互助組織、PTAや地域づくり組織・環境保全活動団体、NPO、民間会社など多様な団体が参加している。

活動組織参画団体	参加割合の高い構成員	地区数	率
地域資源管理組織 (土地改良区、水利組合等)	土地改良区	367	77.1
農業組織 (JA、営農組織等)	JA	448	94.1
地域互助組織 (町内会、老人会、 婦人会、子供会 等)	町内会	376	79.0
	老人会	263	55.3
	婦人会	256	53.8
	子供会	106	22.3
防災組織	消防団	20	4.2
教育関係組織	PTA等	79	16.6
多様な支援組織 (地域づくり・環境 保全関係、NPO、 民間会社等)	地域づくり・環境保全関係	42	8.8
	NPO等	23	4.8

(3) 実施方針に示した効果の高い活動への 主な取組み (計画)

ア 農業の持続的発展を支える活動

・ 遊休農地発生防止のための活動	476地区	(100%)
・ 水路補修等技術習得活動	281地区	(59%)
・ 暗渠排水機能の維持・回復活動	137地区	(29%)

イ 農業・農村の多面的機能を支える活動

・ 田んぼダム機能促進	75千ha	(55%)
・ 防風林管理	48地区	(10%)
・ 景観作物の作付け	116地区	(24%)
・ 外来生物の駆除、在来種の保護育成	43地区	(9%)

2 営農活動支援

(1) 平成19年度採択結果

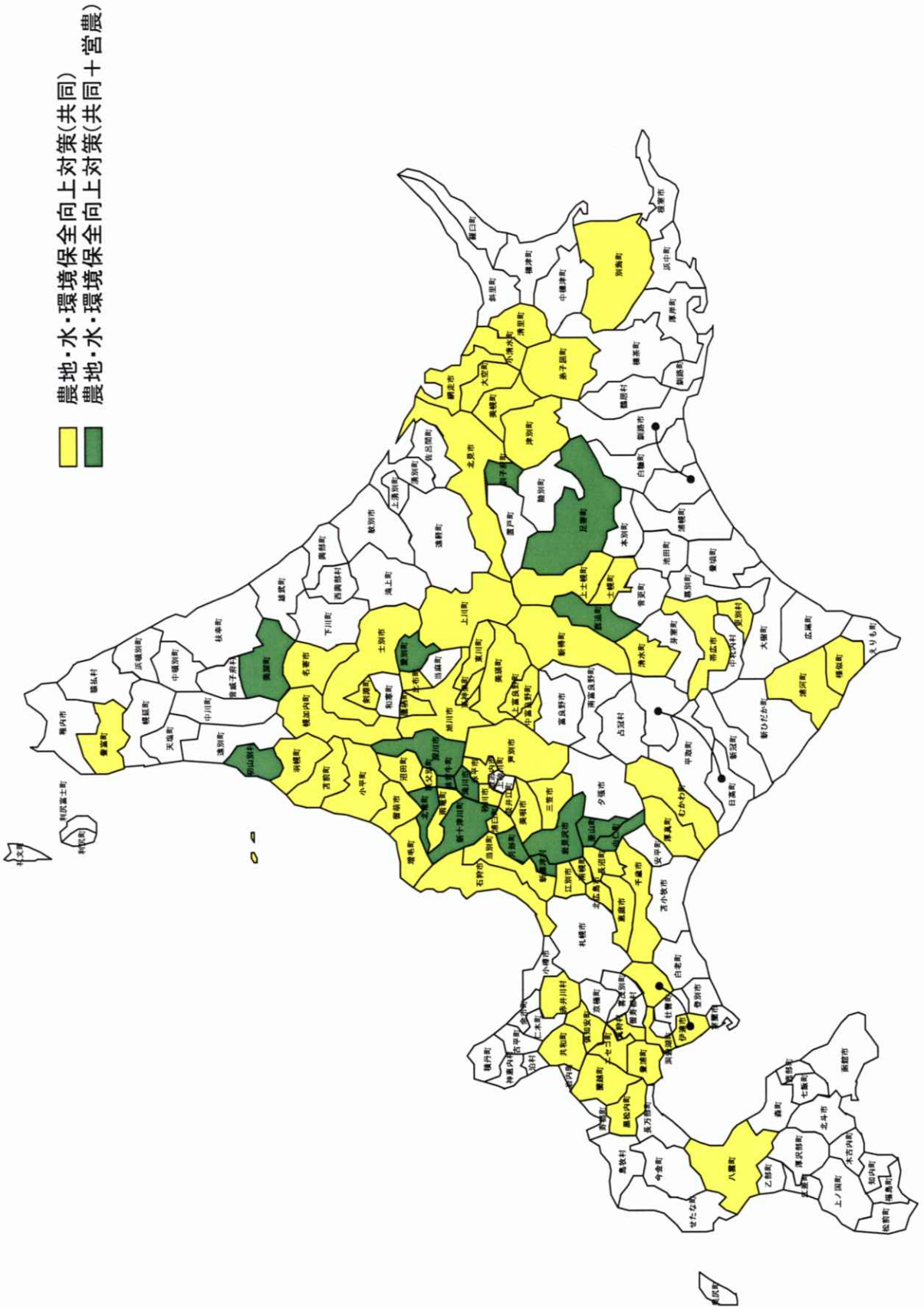
- ・市町村 : 16市町村
- ・地区数 : 75地区
- ・活動面積 : 2,700ヘクタール
- 主な作目 : 水稲 1,700ヘクタール (65.4% : 活動面積に占める割合)
- 大豆 500ヘクタール (18.9%)
- たまねぎ 160ヘクタール (6.0%)
- ・農家数 : 1,100戸(延べ)

(2) 市町村別対象作物

平成19年度 営農活動支援対象作物 (市町村別品目)

市町村	新篠津村	由仁町	栗山町	岩見沢市	月形町	滝川市	妹背牛町	深川市	新十津川町	北竜町	愛別町	美深町	初山別村	訓子府町	鹿追町	足寄町	16市町村
水稲	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○					10
大豆	○			○						○						○	4
小豆	○			○													2
小麦	○																1
馬鈴薯					○			○					○				3
大根	○				○												2
ごぼう																○	1
たまねぎ	○	○	○						○					○		○	6
長ねぎ	○		○						○								3
ほうれんそう	○		○														2
キャベツ															○		1
こまつな	○																1
アスパラガス			○					○									2
ブロッコリー	○																1
レタス	○																1
スイートコーン	○		○													○	3
メロン	○				○												2
すいか					○			○									2
かぼちゃ	○				○			○								○	4
まくわうり					○												1
ピーマン	○																1
いちご	○																1
トマト			○		○			○									3
ミニトマト	○												○				2
おうとう								○									1
花き	○				○												2
そば								○									1
にんにく	○																1
28品目	19	1	6	3	9	1	1	8	3	2	1	1	2	1	1	5	

農地・水・環境保全向上対策 実施状況図(H19)



農地・水・環境保全向上対策に関する実施方針

趣 旨

地域ぐるみでの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみでの先進的な営農活動を、一体的かつ総合的に支援する農地・水・環境保全向上対策について、本道の地域特性に応じて効果的かつ円滑に推進する

農業の持続的な発展と農村振興を図ることにより、

安全・安心な食料を国民に提供する。
美しい景観と多様な生物を育む緑の大地を未来へと継承する。

具体的な実施の考え方

① 地域の「守るべき資源」の確認、課題の把握

② 将来のコミュニティを考慮した対象地域の設定

③ 地域特性に応じた効果の高い活動

④ クリーン農業や有機農業の取り組みとの連携

市町村基本方針の策定

- ・ 地域の特性に応じたきめ細やかで効果の高い取り組み
- ・ 市町村の施策と整合性を持った効果の高い取り組み

協 定

活 動 組 織

各地域で日頃から行われている共同活動の主体を「核」として、多様な主体の参画による組織づくり

効果的な事業実施に関する事項

○ 共同活動において取り組むことが望ましい活動

ア 農業の持続的な発展を支える活動

イ 農業・農村の多面的機能の発揮を支える活動



水路の機能向上(泥上げ等)



環境負荷の低減(水代わき等)



農用地への農産作物の作付替え



外来種の駆除

ウ 農村地域の活性化を支える活動



環境安全のための勉強会開催



都市住民との協働による清掃活動

○ 営農活動における望ましい環境負荷低減の取り組み



土壌診断の実施による有機質資材の適正な投入



フェロモントラップの利用による化学合成農薬の低減

農地・水・環境保全向上対策共同活動に係る効果的な活動の事例について

	活動区分	取り組み事例
農業の持続的発展を支える活動	▼排しキの撤去による農地保全 (鹿追町、鹿追町内活動組織(3組織))	○ 資源(農地等)沿いに堆積してある排しキや残土(暗渠工事)の撤去により農地保全を図るとともに、良好な農村景観を形成している。撤去した排しキは、施設周辺の整備に再利用されている。(鹿追町、鹿追中央地区保全隊)
	▼暗きょ施設の清掃による農地保全 (倶知安町、倶知安八幡資源保全隊)	○ 暗きょ排水機能の維持・向上を図るため、高圧水逆噴射洗浄により暗きょ管内の詰まりを解消。 ○ 地区内への浸透を図るため、現地研修会を開催しながら農地の適切かつ計画的な保全に取り組む。(倶知安町、倶知安八幡地域資源保全隊)
	▼飲雑用水の水質保全 (東川町、第一地域環境保全会 八雲町、八雲中央地区資源保全会)	○ 地域の農業と共存し、生活資源でもある地下水が農薬散布や施肥、排水路の破損等により汚染されていないか確認するため、当地域内37箇所の水質検査を実施。(東川町、第一地域環境保全会)
農業・農村の多面的機能の発揮を支える活動	▼田んぼダム (東川町、東川町内活動組織(4組織) 深川市、深川市内活動組織(5組織) 中富良野町、中富良野町内活動組織(5組織) 新十津川町、新十津川町内活動組織(7組織))	○ 田んぼダムの取り組みとして、水位調整板(みずとりちゃん)を、11月下旬に各ほ場に設置する計画となっており、来年度以降、降雨時の水位調節に取り組む予定。(東川町、第1地域環境保全会)
	▼水田畦畔へのハーブ等植栽 (美唄市、3号溜池地域資源保全協力会 名寄町、風連西資源保全活動組織)	○ きめ細やかな雑草対策として、景観形成・病害虫の忌避等複数の効果が期待される畦畔へのハーブ植栽が、子供会・婦人部等、非農業者の協力を得て行なわれた。(美唄市、3号溜池地域資源保全協力会)
	▼フラワーロードによる景観の形成 (浦河町、姉富東ふるさと守り隊 清里町、上斜里地域資源保全プロジェクト)	○ 地域ぐるみで美しい農村景観を創出することをテーマに、水路や農道わきへ色とりどりの花が植栽された。 ○ 将来は約2,000㎡に亘る植栽を計画している(浦河町、姉富東ふるさと守り隊)
	▼外来種(アライグマ)の駆除 (赤平市、赤平市内活動組織(6組織) 滝川市、江部乙東陽地域資源保全協議会)	○ 農作物被害防止及び北海道の環境と生態系を守るため、市全域(活動区域)において外来種(アライグマ)に取り組んでいる。(赤平市、赤平市内全活動組織(6組織))
	▼ドジョウの引越し	○ 当地区の排水路改修に伴い生息場所が脅かされるドジョウの引越しを、小学生、地域住民等と共に行った。(岩見沢市、豊里みどりの会)
	▼森林遊歩道を活用した地域活性化	○ 地域内の農地に隣接する防風林内へ森林遊歩道を造成し、地域住民の憩いの場や小学生の総合学習の場として活用している。(別海町、上風連みどりネットワーク)
農村地域の活性化を支える活動	▼ホタルの里づくり (旭川市、西神楽地区資源保全活動グループ 八雲町、八雲中央地区資源保全会 北見市、北見市内活動組織(3組織))	○ NPO法人や西神楽ホタルの会と連携して、ホタルの餌となるカワナ等の生息状況調査を行った。その結果に基づきホタルの放流活動計画を策定し、ホタルの里づくりを目指している。(旭川市、西神楽地区資源保全活動グループ)
	▼農村景観に関する学習会	○ 学識経験者を講師に迎え、農村景観や環境保全に関する講演会を開催。生産と環境の調和を図ることや地域ごとに方法を検討することの重要性等を学んだ。(美瑛町、美瑛町内全活動組織(2組織))
	▼活動広報誌の発行による地域活性化	○ 本対策の取り組みを中心に、景観・環境保全などの話題を広報誌で地域内住民に配布している。(別海町、上風連みどりネットワーク)
	▼フットパスイベントとの連携	○ 果樹地帯の特長的な景観を活かしたフットパスイベント(JRヘルシーウォーキング)が開催されており、従前から行われてきた草刈り等の景観保全の取り組みを本対策により強化し、良好な観光資源を提供している。(増毛町、暑寒沢地区資源保全協議会)

事例1：農業の持続的発展を支える活動 (排レキの撤去による農地保全)



実施市町村 : 鹿追町
活動組織 : 鹿追中央地区保全隊
構成員数 : 167名
協定面積 : 6,174ha

鹿追町では、資源(農地・農道・明渠)沿いに堆積されている排レキや残土(暗渠工事)について、本対策の農地保全等の一環として撤去を行い、これらの排レキを活用した周辺施設の整備等に取り組んでいる。

また、この取り組みにより良好な農村景観が得られるなど、町を挙げたグリーンツーリズムの取り組みにも貢献している。

事例2：農業・農村の多面的機能の発揮を支える活動 (水田畦畔へのハーブ植栽)



実施市町村 : 美唄市
活動組織 : 3号溜池地域資源保全協力会
構成員数 : 51名
協定面積 : 244ha

美唄市の3号溜池地域資源保全協力会では、きめ細やかな雑草対策として畦畔へのハーブ植栽を行っている。

この取り組みは、雑草対策はもとより、米の品質悪化を招くカメムシなどの害虫を忌避する効果や、景観形成効果、畦畔強化効果など、複数の効果が期待できる取り組みである。

農道や水路周辺は、子ども会や婦人部など非農業者の協力を得ながら地域一体となって取り組まれている。

また、病害虫忌避効果から化学合成農薬の使用量を低減して生産された「ハーブ米」が生産されている。

事例3：農業・農村の多面的機能の発揮を支える活動 (フラワーロードによる景観の形成)



実施市町村 : 浦河町
活動組織 : 姉富東ふるさと守り隊
構成員数 : 73名
協定面積 : 596ha

軽種馬産地である浦河町は、日高山脈の裾野に広がる競走馬の放牧風景と水田や水路などの農村風景が折り重なって特色ある景観となっている。

そのような中、姉富東ふるさと守り隊では、地域ぐるみで美しい農村景観を創出することをテーマに、ルピナス、デリュフニューム、コスモスなどの花を、約800畝に亘って植栽し、町内外の通行者の目を楽しませている。

また、当地域では地域の小学校と連携し、田植えから稲刈り、はさ掛けなど、稲作を一貫して体験できる総合学習にも取り組んでおり、次世代を担う子どもたちへ農村の文化を伝承することにも取り組んでいる。

事例4:農業・農村の多面的機能の発揮を支える活動 (ドジョウの引越し)



実施市町村 : 岩見沢市
活動組織 : 豊里みどりの会
構成員数 : 42名
協定面積 : 600ha

岩見沢市(旧北村)において、水田の排水路改修に伴い生息場所が脅かされるドジョウの引越しを、小学生、地域住民、空知支庁、建設業者などが行った。

当地区の排水路には昔からドジョウが多数生息していることが知られており、排水路工事にあっても、生態系に配慮した「穴あきトラフ」で施工することとしている。

この穴あきトラフの有効性について、道立水産孵化場と連携し追跡調査を実施することとする。

今回は、排水路工事に先立ち、この「ドジョウの引越」を実施することとし、農地・水・環境保全向上対策の環境保全活動の一環として子供達や地域住民が一体となって取り組んだ。

事例5：農村地域の活性化を支える活動 (森林遊歩道を活用した地域活性化の取り組み)



実施市町村 : 別海町
活動組織 : 上風連みどりネットワーク
構成員数 : 83名
協定面積 : 6,661ha

上風連みどりネットワークでは、本対策の「生態系保全活動」を活用し、地域内の約5分の1の森林に800本の森林観察路(遊歩道)を造成した。

ミズナラが主体の森林に、アズキナシ、オンコなど地域の樹木を移植し、住民へ憩いの場を提供するとともに、小学生の総合学習の場としても活用されている。

将来は、樹種を増やし樹木博士の認定コースとすることや、伐採した木や枝などで炭をつくり水質浄化に活用する構想も持っている。

また、当活動組織は地域内情報誌「みどりネット通信」(別添のとおり)を発刊し、外部に対し、農地・水・環境保全対策の取り組みを積極的にPRしている。

営農活動支援の取組

—代替技術の導入により化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減—

○ 化学肥料の低減

- ・ 土づくり、化学肥料低減のための技術の内容

土づくり	<input type="checkbox"/> たい肥等有機物資材施用技術	化学肥料 低減	<input checked="" type="checkbox"/> 局所施肥技術
	<input type="checkbox"/> 緑肥作物利用技術		<input checked="" type="checkbox"/> 肥効調節型肥料施用技術 <input checked="" type="checkbox"/> 有機質肥料施用技術



生産者が代替技術を導入して化学肥料を低減します

<p>■ 局所施肥</p>  <p>株元への効率的な施肥による 施肥量の削減</p>	<p>■ 肥効調節型肥料</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;"> <p>硝安被覆型肥料 ロング 2411-40</p>  </td> <td style="text-align: center;"> <p>尿素被覆型肥料 LPコート 40</p>  </td> </tr> </table> <p>多様な肥料被覆材による 肥料効果の調節</p>	<p>硝安被覆型肥料 ロング 2411-40</p> 	<p>尿素被覆型肥料 LPコート 40</p> 	<p>■ 有機質肥料</p>  <p>鶏糞・魚かす・油かすなどの 有機質肥料の使用</p>
<p>硝安被覆型肥料 ロング 2411-40</p> 	<p>尿素被覆型肥料 LPコート 40</p> 			





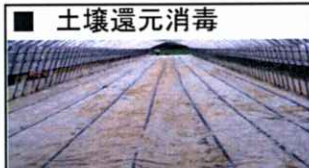

○ 化学合成農薬の低減

- ・ 化学合成農薬を低減するための主な技術の内容

化学合成 農薬低減	<input checked="" type="checkbox"/> 温湯種子消毒技術	<input type="checkbox"/> 熱利用土壌消毒技術	その他 技術	<input type="checkbox"/> 粗植栽培
	<input checked="" type="checkbox"/> 機械除草技術	<input type="checkbox"/> 光利用技術		<input type="checkbox"/> 適正な水管理
	<input type="checkbox"/> 除草用動物利用技術	<input type="checkbox"/> 被覆栽培技術		
	<input checked="" type="checkbox"/> 生物農薬利用技術	<input type="checkbox"/> フェロモン剤利用技術		
	<input type="checkbox"/> 対抗植物利用技術	<input checked="" type="checkbox"/> マルチ栽培技術		
	<input type="checkbox"/> 抵抗性品種栽培・台木利用技術	<input checked="" type="checkbox"/> 土壌還元消毒技術		



生産者が代替技術を導入して化学合成農薬を低減します

<p>■ 温湯種子消毒</p>  <p>種子伝染性病害の 温湯による防除</p>	<p>■ 機械除草</p>  <p>除草剤を使わず機械で除草</p>	<p>■ 生物農薬</p>  <p>病害虫防除に天敵昆虫や微生物 などの生物農薬を活用</p>
<p>■ マルチ栽培</p>  <p>養分の流亡を抑え肥効を 高めるとともに雑草の発生を抑制</p>	<p>■ 土壌還元消毒</p>  <p>土壌伝染性病害を 農薬を使わずに防除</p>	<p>■ 発生予察</p>  <p>発生モニタリング調査(粘着 トラップ)による適期防除の実施</p>



○ 主な作物の低減例

作物名	化学肥料(窒素kg/10a)		化学合成農薬(成分回数)	
	慣行	5割低減	慣行	5割低減
水稻	10	5	22	11
大豆	4	2	13	6
たまねぎ	20	10	30	15



みどりネット通信

第1号

2007年8月1日

発行
上風連みどりネットワーク
編集 事務局

農道の草刈り



開南草刈り

六月中旬、各地区の農道の脇に立っているポールやガードレールの周りの草を刈り払い機で刈りました。トラクターとタイヤショベルなどの大型機械による草刈りでは細かいところの草刈りができないし、車両でポールやガードレールを刈ってしまうわけにはいきません。刈り払い機での作業の時には、赤いカラーコーンと矢印を道路に置いて、交通安全へのご協力をお願いしています。暑い日が続いて



東部草刈り



赤いカラーコーンを設置する元さん



中央草刈り

大変だったと思いますが、汗と草にまみれながら、がんばって作業しました。



南矢日別草刈り

大型機械による草刈りは、南矢日別・上南・東部地区を河嶋産葉さんのタイヤショベルで、開南・中央地区を山村さんのトラクターで刈ってもらいました。お疲れ様でした。



農道の草刈りは、秋にもありますので、またよろしくお願ひいたします。



南矢日別道路沿い花壇

各地区の女性部のみなさんがきれいな花壇を作ってくれています。各地区の農道沿い

咲いてます！花壇



中央？花壇

と会館前、開南地区は草地にも美しく咲いています。どんな花を植えるのかというところ



東部会館前花壇



開南農道沿い花壇



咲いてます！花壇



アズキナシの木

開南観察路



開南地区の観察路は、三月にアズキナシの木を移植しました。五月には、トラクターなどを駆使し、歩く道がついてきました。すてきな観察路が出来そうです。



ミックスフラワーの種まき

ぼく達も植えたよ！

五月中旬には、保育園の南側の花壇にミックスフラワーの種をまきました。数日前にはトラクターで花壇を耕して種まきの準備をしておきました。当日はとも寒い中、保育園児と小学生、中学生が力を合わせて、たくさんまいてくれました。パケツの中の肥料が混ざった種をバラバラとまいた後、一列に並んで、踏んでいきます。きれいな花が咲くようにと、心を込めてがんばっていました。

すずらん植えたよ



きれいなあずらん咲くかな？

ミックスフラワーを植えた後、小中学生は隣の花壇にすずらの苗を植えました。ポットに入った苗をどうやって植えるのかわからなくて苦戦している子もいましたが、等間隔にきれいに植えてくれました。



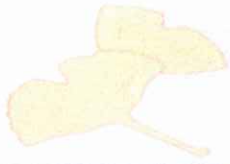
七月には周りに生えた雑草抜きもして、植樹できる日を心待ちにしています。

どんぐり畑

年の十月に植えたどんぐりは、芽を出して成長し10cm位に大きくなっています。七月には周りに生えた雑草抜きもして、植樹できる日を心待ちにしています。

編集後記

他にも、雑木の除去や道路への砂利補充など、紹介しきれませんが、この事業はみなさんのご協力なしには成り立ちません。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします！
私とみなさんの顔と名前が一致するよう努力しなすては……



みどりネット通信

第2号
2007年10月1日
発行
上風連みどりネットワーク
編集 事務局

花壇きれいです!



南矢会館花壇

女性部のみなさんが造ってくれている各地区の花壇がきれいに咲いていましたので、写真を撮ってきました。今年も、例年になく暑い期間が長かったので、きれいな花を長く楽しめました。でも、花壇の草取りなどの整備作業は、汗だくになりながらの作業でも大変だったと思います。ご苦労さ



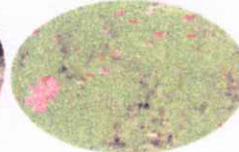
南矢会館花壇



南矢農道花壇



東部農道花壇



東部会館花壇



中央会館花壇



中央農道花壇



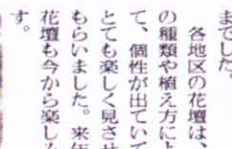
開南農道花壇



開南会館花壇



開南墓地花壇



各地区の花壇は、花の種類や植え方によって、個性が出ていて、とても楽しく見させてもらいました。来年の花壇も今から楽しみです。

第1回視察研修 中標津町に行ってきました!



佐伯牧場の佐伯さん



佐伯牧場の花壇

上風連みのネットワークの第1回視察研修として、婦人のみなさんと中標津町のきれいな花壇が評判の牧場へ行ってきました。まず、俣落にある佐伯牧場です。敷地の中に画廊や作品展示場があり、見ごたえたっぷりでした。花壇には、木花に混ざってミニトマトなどの野菜も植えてありました。佐伯牧場で経営しているレストラン「牧舎」で昼食



佐伯牧場



長正路牧場



長正路牧場



長正路さんと奥さままで記念撮影



左のり、午後からは西竹の長正路牧場に行きました。長正路牧場は、道路の前を通る車も意識した花壇づくりをしているそうです。時期が少し



長正路牧場の花壇



遅かったので、もう少し早く来てほしかったと奥さまに言われてしまいました。短い時間でしたが、充実した時間を過ごせました。

今回は、花壇の特集号にしてみました。婦人のみなさんが頑張ってくれた花壇、来年にも期待しちゃいます! どの地区の花壇もとってもきれいに咲いていたので、私のうちの周りにも植えてみようかな...なんて思ったり思わなかったり... (笑)

編集後記

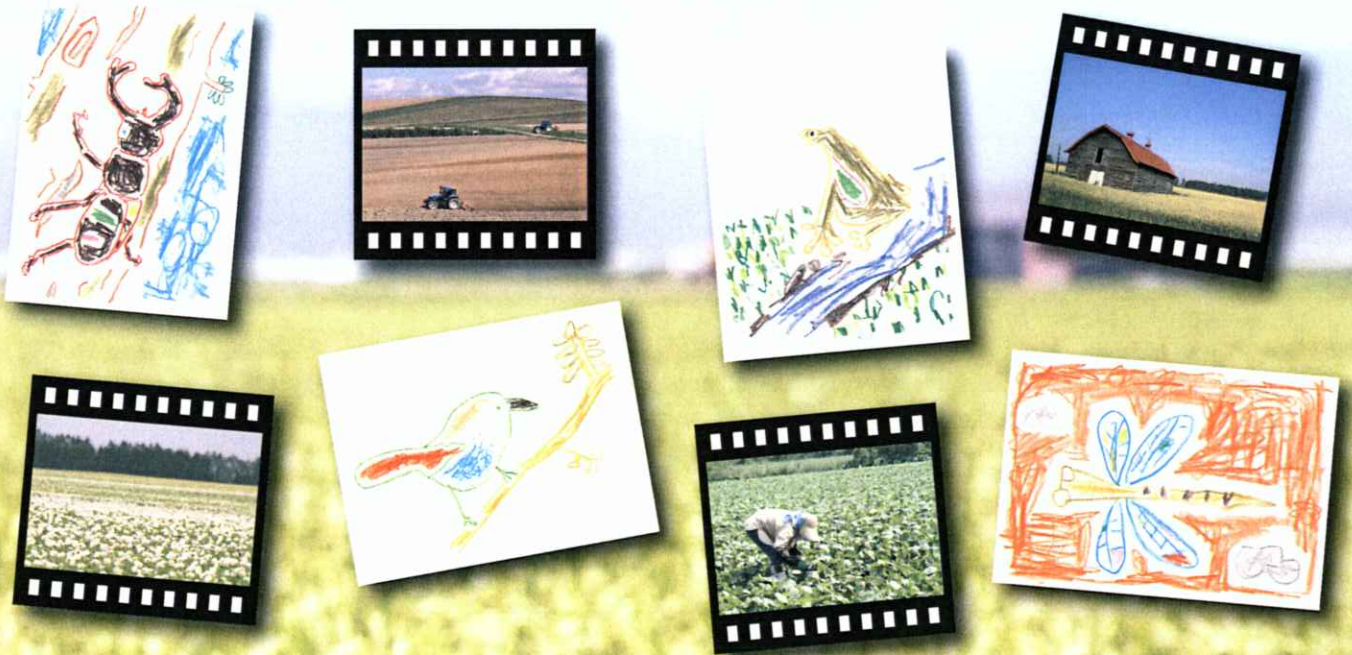


湖風蓮川をめざしていきなすね。湖風蓮川をめぐって、pHとCODを測ってきました。もっと美しい湖風蓮川をめざして

水質調査

風蓮湖と風蓮川の水質調査を行いました。風蓮湖は、風蓮川連絡協

「とんぼの未来・北の里づくり」 写真・絵画コンテスト



北海道の緑のふる里を子どもたちのために

大切な食べ物を生みだしたり、美しい景観から感動をもらったり、生き物たちが豊かに命を育んだり、こうした体験を通じて子供たちが自然の仕組みを学んだり…農村から私たちが受けている“めぐみ”は、計り知れないものがあります。私たちの暮らす北海道で、農村が社会や自然のために果たす役割を理解し、守り、しっかりと未来へ引き継いでゆくため、北海道農地・水・環境保全向上対策《「とんぼの未来・北の里づくり」という愛称です。》が始まりました。まずは、農村の中にキラリと光る「あなただけの宝物」を見つけるところから、「とんぼの未来・北の里づくり」の体験が始まります。皆さんが農村で見て、感じて、ふれ合った体験を写真・絵画の中に描いてみようではありませんか。



作品募集

北海道の農村の魅力を再発見。あなたの感性がとらえた「農村ならではの活動・風景・生き物」の写真や絵画をお待ちしております。

【テーマ】

地域ぐるみの活動（本対策の共同活動の様子や成果に限ります）

○地域のみんなで行う草刈りやごみ拾いの様子など

○地域のみんなで行う植樹や花植えの様子など

農村風景（営農作業、行事や景観など）

○北海道のおいしい農産物の収穫風景など

○守っていききたい農村の風景など

農村の生き物（動植物、鳥、魚、虫など）

○田んぼに暮らす生き物たち（水生昆虫、カエル、トンボ、水鳥など）

○里山に暮らす生き物たち（クワガタ、カブトムシ、キツネなど）

【応募作品及び応募対象】

写真の部…団体・個人、年齢を問わずどなたでも応募できます。

絵画の部…小学生を対象とします。

【応募方法】

下記ホームページにアクセスし応募要領をご確認ください。

応募用紙は、本誌裏面を活用するか、下記ホームページから

ダウンロードし、応募作品の裏面に貼り付けてください。

なお、応募用紙は1作品につき1枚必要です。

《とんぼの未来・北の里づくり》

<http://www.do-nouchimizu.com/>

【賞】

写真の部

○最優秀賞…1点 ○優秀賞…3点

○入選…10点 ○特別賞…数点

絵画の部（低学年、中学年、高学年の部各1点）

○最優秀賞…3点 ○優秀賞…9点

○入選…30点 ○特別賞…数点

入賞者には、副賞として「こだわり農産物」等を進呈します。また、絵画の部は、応募者全員に参加賞を進呈します。

【お問い合わせ先】

〒060-0005

札幌市中央区北5条西6丁目

農地開発センター7階 水土里ネット北海道内

「とんぼの未来・北の里づくり対策

写真・絵画コンテスト」係

TEL011-221-2292 FAX011-200-5352

主催：北海道農地・水・環境保全向上対策協議会

後援（予定）：国土交通省北海道開発局、

農林水産省北海道農政事務所、北海道教育委員会、

農業・農村ふれあいネットワーク

写真用

とんぼの未来・北の里づくり写真・絵画コンテスト応募用紙

(該当するテーマを○で囲んでください。複数選択可)

写真テーマ

①地域ぐるみの活動

②農村風景

③農村の生き物

写真タイトル

撮影場所

撮影年月日

フリガナ
氏名

男・女 (才)

関係活動組織名

(テーマ①「地域ぐるみの活動」を選択の際は御記入願います)

〒

住所

電話番号又はメールアドレス

作品説明

絵画用

とんぼの未来・北の里づくり写真・絵画コンテスト応募用紙

(絵のテーマに○をつけてください。複数選択可)

テーマ

①地域ぐるみの活動

②農村風景

③農村の生き物

だい
題名

ふりがな
なまえ
前

小学 年生

男・女 (才)

がっこうめい
学校名

〒

じゅう
住所

でんわばんごう
電話番号

さくひん
作品にひとこと

(保護者の方へ：テーマ①「地域ぐるみの活動」を選択の際は、関係活動組織の名称を記入してください。)

関係活動組織名